

《B班 研究文献》

1. 選んだ本の書誌情報

三木義一『日本の納税者』岩波新書 2015年

2. 目次

はじめに 「減税の好きな国民」

序章 「さまざまな納税者たち」(P1)

第1章：取り残された納税者 (P13)

①なぜ、納税の「義務」なのか (P14)

②申告納税制度の不幸な展開 (P28)

③取り残されたサラリーマン (P48)

第2章：取り締まられる納税者 (P65)

①脱税でもないのに抜き打ち調査？ (P66)

②理由がわからない処分 (P79)

第3章：頼れるものがない納税者 (P91)

①読んでもわからない法律 (P92)

②助けてくれない裁判所 (P107)

③守ってくれない専門家 (P136)

第4章：払えない人、払わない人、払うべき人 (P153)

①払えない人と滞納 (P154)

②払わない人と処罰 (P158)

③払うべき人租税回避 (P166)

終章 納税者の権利と民主主義 (P175)

①いまだに実現しない納税者権利憲章 (P176)

②税の使い道と民主主義 (P189)

終わりに 「黒船は三度やってくる？」(P205)

3. 著者紹介

<経歴>

- ・中央大学法学部卒業
- ・政府税制調査会専門家委員会委員に就任 (2010)
- ・青山学院大学法学部教授 (2010)

<著書>

- ・『日本の税金』、『現代税法と人権』等

4. 選定理由

1. 一番多く徴収されている税は何か
2. 税の支出のしくみはどのように構成されているのか
3. なぜ納税の“義務”なのか
4. 申告納税制度の落とし穴について
5. 事前通知のしくみと矛盾について
6. 理解しにくい税に関する法律をどのように解釈していけば良いか
7. 裁判所の役割、立場はどのようなものなのか
8. 納税の“権利”へと意識させるためには
9. 脱税者をどのように減らすか
10. 税金の使い道を明白にするための工夫